

音楽科学習指導案

安芸高田市立向原中学校

教諭 山口 彩

- 1 日 時 平成26年9月25日(木) 5校時(13:35~14:25)
- 2 学年・学級 1年A組・B組・C組(男子11名 女子14名 合計25名)
- 3 場 所 向原中学校 音楽教室
- 4 題 材 名 詩の内容と音楽が一体となった歌曲のよさを味わおう
- 5 教 材 名 「魔王」シューベルト作曲

6 題材について

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領(平成20年)の〔第1学年〕の「B鑑賞」の内容のうち、(1)指導事項ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」を受けて構成されており、〔共通事項〕のうち音色、リズム、旋律、強弱を扱う。

本題材では、シューベルト作曲の歌曲「魔王」を教材とする。この教材は、詩を手がかりに情景をイメージしたり、詩を手がかりにイメージした情景と関わらせながら音楽を形づくっている要素や構造を捉えたりする学習を行うなどの視点から、中学生の鑑賞の学習に適したものの一つである。この題材を扱うことによって、旋律や強弱、伴奏の変化や音の高低の知覚を深めながら、それらの働きと場面の描写や登場人物の心情の変化との関わりを感じ取る能力を身に付けることができると考える。

(2) 生徒観

生徒の実態として、本学級の生徒は、特に和太鼓等の大きな身体の動きを伴った活動の際、意欲的に取り組むことができる。音楽の授業についてのアンケートでは、「音楽を聴くことが好きである」という問いに対して、81.7%の生徒が肯定的な回答をしている。しかし、「クラシック音楽を聴くことが好きである」という問いに対しては、「好きである」と回答した生徒が9.0%、「まあまあ好きである」と回答した生徒が18.1%、「あまり好きでない」と回答した生徒が59.0%、「嫌いである」と回答した生徒が13.6%と、否定的な回答の割合が多い。その理由としては、「普段はあまり聴く機会がないから」「眠くなるから」「J-POPの方が好きだから」「歌詞がわからないから」といった内容が目立った。この結果から、生徒はクラシック音楽に対して退屈な印象を持ち、よさを見いだせていないことがうかがえる。

鑑賞領域においては、これまで「春」(ヴィヴァルディ作曲)を通して、楽曲が表している情景を自分なりに想像しながら聴いたり、それと関わらせながら音楽を形づくっている要素や構造を捉えたりする学習を行ってきた。その中で、強弱や速度を捉えることは大体の生徒ができているが、旋律を捉えることには課題が残っている。本題材では、伴奏の変化を中心に、音楽を形づくっている要素や構造を知覚・感受し、詩の内容との関わりを感じ取らせることで、どのような効果が生み出されているのかを感じ取らせたい。

(3) 指導観

本題材では、楽曲の魅力や特徴を自分なりに捉え、それを言葉で説明することによって、思考力・判断力だけでなく、表現力の向上も目指す。また、他者との意見交流を通して、多様な捉え方や感じ方があることを理解させたい。

また本題材では、生徒が楽曲を聴く中で知覚・感受したことを、言語を用いて思考・判断する学習活動を設定した。そうすることで、音楽を形づくっている要素と曲想の変化との関わりについてなど、生徒自

らが気づき感じたことをもとに、根拠をもって批評する力を伸ばしたいと考える。

本時では、鑑賞する際に着目する〔共通事項〕を4つ示し、「強弱」を必ず手がかりとすることに加え、「音色」「リズム」「旋律」のいずれかを生徒自らが選択し着目することとした。そうすることで、個々の生徒のレベルに応じた学習となり、「努力を要する」状況と判断した生徒にも無理のない学習活動となると考える。

さらに、学習意欲を高める視点から、全体での意見交流を取り入れた授業展開を行い、生徒同士の共感的人間関係を育成するとともに、個々の生徒の自己存在感の高揚を図りたい。

7 題材の目標

「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、主体的に解釈したり価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わうことができる。

8 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

9 指導と評価の計画（全3時間）

時間	○学習活動 ・ 学習内容	○評価規準（評価方法）	〔共通事項〕
1	○「魔王」の全体の流れを聴き、音楽の雰囲気などを感じ取る。 ・「魔王」を聴いて、感じ取ったことを自由に意見交流する。 (教師は、生徒の発言の中から、音色、リズム、旋律、強弱に関わるものを取り上げ、板書を用いて整理する。) ○4人の登場人物をどのように表現しているかを感じ取る。 ・4人の登場人物を1人の歌手が歌い分けていることを知る。(語り手、子、父、魔王) ・教科書の詩を読んで、その内容から4人の様子を理解する。 ○シューベルト、ゲーテについて理解する。 ・教科書で確認する。	○「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。〔音楽への関心・意欲・態度①〕 (観察、ワークシートI)	音色 リズム 旋律 強弱

2 (本時)	<p>○各登場人物の特徴を表すために、どのような工夫がされているかを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴き取りながら、音色、リズム、旋律、強弱の意味などを教師の説明を聞いて理解する。 ・子と魔王の特徴的なフレーズを聴き、「どちらのセリフか」、「音楽のどのようなところからそう思ったか」をワークシートに書き、意見を発表し合う。 ・子と魔王の音楽を聴き、それぞれにどのような音楽的工夫がされているかを感じ取る。 	<p>○「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。〔鑑賞の能力①〕 (ワークシートⅡ)</p>	音色 リズム 旋律 強弱
3	<p>○ピアノ伴奏の前奏部分のみをリズムに着目して聴き、何を表現しているのかを感じ取る。</p> <p>○学習を振り返りながら紹介文を書き、よさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魔王」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文にまとめる。その際、「音楽から想像したことや感じ取ったこと」と「その理由」を含めて書く。「その理由」については、「音色」「リズム」「旋律」「強弱」のうちから2つ以上の言葉を用いる。 ・紹介文を基に意見交流をする。 	<p>○「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。〔鑑賞の能力②〕 (ワークシートⅢ)</p>	音色 リズム 旋律 強弱

10 本時の目標

それぞれの登場人物の声の音色や、子の声の高さの変化、詩の内容に合わせた強弱、伴奏のリズムの変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を、詩の内容と関わらせながら感じ取ることができる。

11 本時の評価規準

おおむね満足できる状況 (B)	十分満足できる状況 (A)	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への指導の手立て
<p>(ワークシートⅡ)</p> <p>①に「誰の音楽 (セリフ) か」を書き、かつ、②の「その理由」に、「音色」「リズム」「旋律」「強弱」のいずれを選択した場合も「魔王」の音楽についての内容を書いている。さらに、③に「登場人物ごとにどのような音楽的工夫がされていたか」、詩の内容と関わらせて書いている。</p>	<p>(ワークシートⅡ)</p> <p>①に「誰の音楽 (セリフ) か」を書き、かつ、②の「その理由」に、「音色」「リズム」「旋律」「強弱」のいずれを選択した場合も「魔王」の音楽的な特徴としての確かな内容を書いている。さらに、③に「登場人物ごとにどのような音楽的工夫がされていたか」、詩の内容と関わらせて、具体的かつ音楽的な特徴として適切な内容を書いている。</p>	<p>◆どの要素に着目すればよいか分からない生徒には、音の高低や明暗 (旋律) を手がかりにして聴くよう指導する。</p> <p>◆2人の登場人物について、要素を聴き取れない生徒に対しては、1人だけでも聴き取るよう助言する。</p>

1.2 設定した言語活動を通して育てたい力

「魔王」の音楽を聴いて感じたことを、音楽を形づくっている要素（それぞれの登場人物の声の音色や、子の声の高さの変化、詩の内容に合わせた強弱、伴奏のリズムの変化）を手がかりとして、他者に伝えることができる。

1.3 準備物 教科書（教育芸術社「中学生の音楽1」）、ファイル、自己評価シート、筆記用具

1.4 本時の学習展開（2時間目／全3時間）

	学習活動〔学習内容〕	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） ＜生徒指導の三機能＞	評価規準〔観点〕 （評価方法）
導入 （5分）	<p>1 課題意識をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時での意見交流から、音楽の雰囲気について感じたことを想起する。 	<p>◇前時での意見交流をもとに、曲を聴いて感じ取ったことについての生徒の発言の中から、「音色」「リズム」「旋律」「強弱」に関わるものを整理し、スライドで視覚化する。</p>	
	<p>【前時の生徒の発言例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の部分は悲しい歌い方で、子が亡くなったのが伝わった。音色 ピアノ伴奏は、同じ音の連打が多用されており、雨が打ち付けている様子が浮かんだ。リズム 子のセリフ部分は、だんだんと音が高くなっていった。恐怖が増し、父に助けを求めて叫んでいるようだった。旋律 魔王の最後のセリフ部分で、音が強くなったことで、優しくった魔王が本性を現した感じがした。強弱 		
	<ul style="list-style-type: none"> 4人の登場人物を1人の歌手が歌い分けしていることを復習する。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「魔王」の詩の内容と音楽との関わりを感じ取り、子と魔王の部分の音楽的な工夫についてまとめよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価シートに、本時の内容およびめあてを記入する。 		

展開
(35分)

3 各登場人物の特徴をそれぞれ表すために、どのような工夫がされているかを感じ取る。

- ・音楽を聴き取りながら、音色、リズム、旋律、強弱の意味などを教師の説明を聞いて理解する。

- ◇子と魔王の特徴的なフレーズを聴かせ、どちらのセリフだと思うか質問する。
- ◇なぜその人物だと思ったか、理由も考えさせる。その際は、次の要素から2つを手がかりとさせる。

【要素】

音色、リズム、旋律、強弱

その際、1つは教師が提示をする(強弱)。もう1つは生徒自身に決定させる。

<自己決定の場を与える>

○「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。

[鑑賞の能力

①]

(ワークシート

II)

- ・子と魔王の特徴的なフレーズを聴き、「どちらのセリフか」、「音楽のどのようなところからそう思ったか」をワークシートに記入する。

- ・考えを発表し合う。

- ◇着目する要素を、生徒自身に1つまたは複数選択させる。

◆どの要素に着目すればよいか分からない生徒には、音の高低や明暗(旋律)を手がかりにして聴くよう指導する。

◆2人の登場人物について、要素を聴き取れない生徒に対しては、1人だけでも聴き取るよう助言する。

- ◇2つの要素同士の関わりについても考えさせる。

◇一人一人が自信をもって自分の考えを発表し、仲間の意見も大切に作る雰囲気をつくる。

<共感的人間関係を育成する>

<自己存在感を高める>

言語活動の充実

【予想される生徒の反応】

子：助けを求めて叫んでいる感じがしました。理由は、高い音域を使い、フレーズごとに音の高さが上がっていったからです。

音色 旋律

魔王：最初は優しく、最後に本性を現したように感じました。伴奏形が他の登場人物とは異なり、長調で子を誘うような優しい音色がするし、最後には激しく、短調になるからです。

リズム 音色 強弱

	<p>・子と魔王の音楽を聴き、それぞれにどのような音楽的工夫がされているか感じ取る。</p> <p>子→魔王</p>	<p>◇歌唱だけでなく、ピアノ伴奏にも焦点を当てることで、それぞれが相乗効果をもたらし、物語を劇的に表現していることに気づかせる。</p> <p>◇スライドやワークシートを活用して、確実に学習させる。</p> <p>◇登場人物ごとに、音楽的な特徴を板書し、振り返りの際に役立てる。</p>	
<p>まとめ (10分)</p>	<p>4 本時のまとめを行う。</p> <div data-bbox="277 667 1203 1106" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>生徒のまとめ例（期待する生徒の姿）</p> <p>子：高い音域を使うことで子どもの声の感じを出していた。また、フレーズごとに一音ずつ高い音を使うことで、恐怖心の高まりや、父に助けを求めている感じがよく表れていた。</p> <p>魔王：前半のピアノ伴奏が、前奏や他の登場人物のときに使われている同じ音の連打ではなく、音が細かく動いており楽しい雰囲気だった。また、長調で優しい音色だったが、最後にとっても強く激しい音色に変化し、魔王の本性である凶暴さが表れていた。</p> </div>	<p>◇登場人物ごとにどのような音楽的工夫がされていたか、詩の内容と関わらせてまとめる。</p>	
	<p>5 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◇音楽を形づくっている要素を手がかりにして鑑賞することで、詩の内容と音楽の関わりを感じ取ることができることを整理する。</p> <p>◇次時ではピアノ伴奏の前奏部分に焦点を当てて鑑賞するとともに、全曲を通して聴き紹介文を書くことを伝え、次時の学習につなげる。</p>	

15 板書計画

9月25日(木) 魔王/シューベルト作曲

めあて 「魔王」の詩の内容と音楽との関わりを感じ取り、
子と魔王の部分の音楽的な工夫についてまとめよう。

手がかりとなる要素 **音色** **リズム** **旋律** …1つ選ぶ
強弱 …必ず使う

子

魔王

(生徒の考え)
(理由)

(生徒の考え)
(理由)

高い音域

1音ずつ音が高くなる

短調

他の人物とは異なるピアノ伴奏

最初は優しい音色

最後に強く、激しくなる

長調→短調

授業の流れ

- 1 復習
- 2 めあての確認
- 3 登場人物を表すための工夫
- 4 まとめ、振り返り